

核酸染色用試薬 クリアステインブルー CLEAR STAIN Blue

本品はアガロースゲル電気泳動後の核酸を染色するための試薬です。本品は核酸を青色に染色し可視化するため、検出用の装置を必要としません。また臭化エチジウム(EtBr)のような変異原性はなく、取り扱い是非常に安全で容易です。

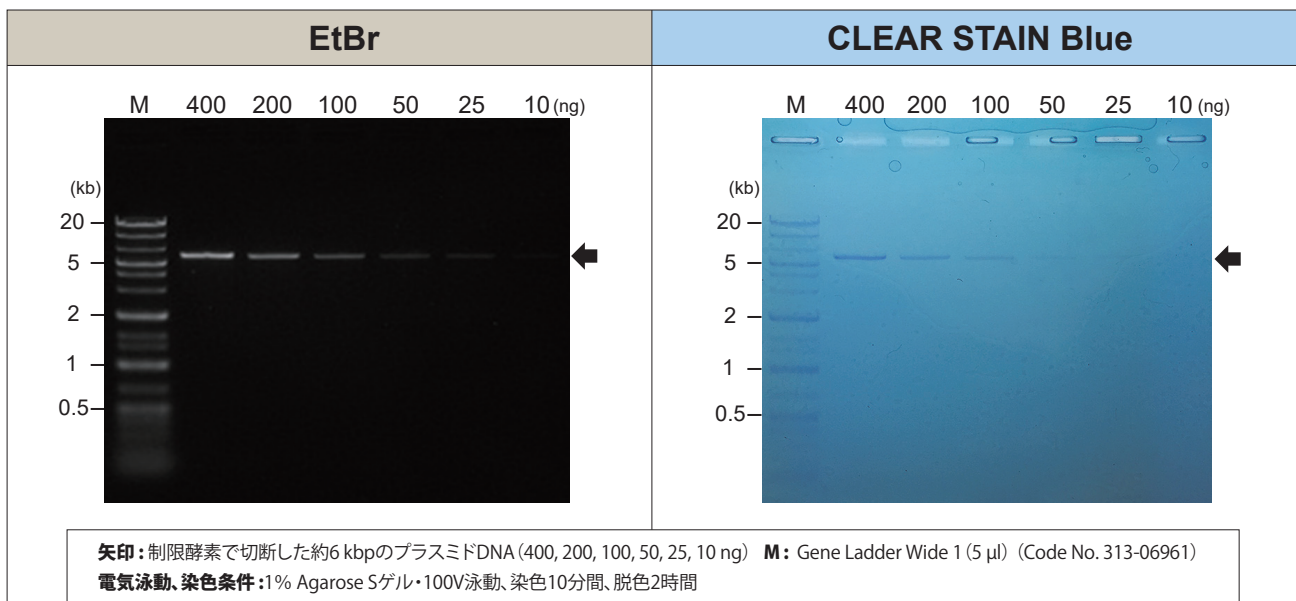
- 特長**
- 検出感度はEtBrと同程度
 - 変異原性はなく、非常に安全
 - 専用の検出用装置は不要

内容

構成品	CLEAR STAIN Blue
容 量	120 ml×1本
保 存	室温
備 考	青色溶液 (10倍濃度)

エチジウムブロミド(EtBr)と本品の比較

染色液として、本品を10倍に希釈した溶液と、EtBr Solution を0.6 µg/mlに調製した溶液を用意した。電気泳動後のアガロースゲルを各染色液の中に10分間沈めて染色し、溶液から取り出したゲルを40℃程度のお湯の中に2時間沈めて脱色を行った後、写真撮影した。



安全性

✕ 突然変異誘起剤である

○ 変異原性はなく、非常に安全

撮影のしやすさ

○ 専用検出装置で撮影しやすい

✕ 薄いバンドの撮影が難しい

染色時間の省略 (先染め)

○ 先染め可能

✕ 青色色素が容器に付着するため先染めは推奨しません

ゲルからのDNA抽出

✕ 紫外線照射が必要
DNAにダメージ

○ 自然光下で目視可能
ゲルからの切り出しも簡単

使いやすさ

△ 研究室に装置などそろっている
習熟者が使用する

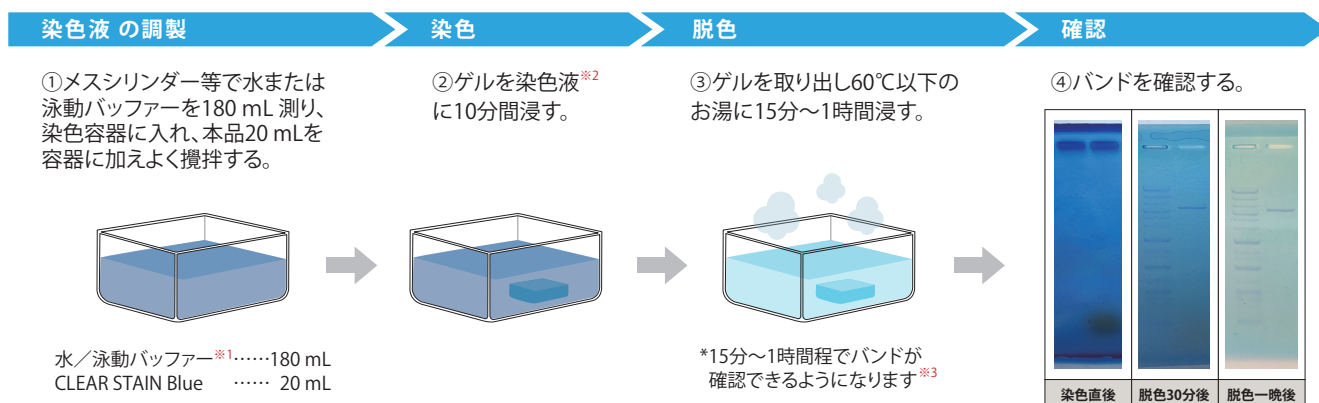
△ SDS含有試薬は使用できない※
学生実習に最適

※使用上のご注意

電気泳動の際に6×Loading Buffer Orange G (Code No. 317-90251) など、ドデシル硫酸ナトリウム(SDS)が含まれていないローディングバッファーをご使用下さい。

CLEAR STAIN Blue

使用例 染色液 200 mL の調製方法



- ※1 使用の際には水(蒸留水 or イオン交換水)または、泳動バッファ(1×TAE or 1×TBE)で10倍に希釈してください。
- ※2 10倍希釈した染色液は、数日から1週間以内であれば数回繰り返し使用できます。使用頻度や染色度合に応じてご使用ください。
- ※3 画像を保存する場合は、2時間から一晚、常温の水に浸けておくとバックグラウンドが抜けたきれいな像が得られます。

Q&A

Q1 CLEAR STAIN Blueで染色後、ゲルから切り出したDNAはクローニングに使用できますか？

A1 CLEAR STAIN Blueで染色したDNAは、切り出し・クローニングに問題なく使用できます。また、EtBr/UV処理したものと比較しても同等以上の形質転換効率を得ています。

Q2 脱色時間を短くするため、シェーカー等で振とうした方がよいですか？

A2 脱色は静置で問題なく進みます。振とうでゲルの割れ、欠けなどが生じる可能性があるため、弊社では静置で実施しています。より早く脱色したい場合は、こまめに高めのお湯(60℃以下)を交換する方が早いです。染色時間が長くなると、脱色に必要な時間も長くなります。

Q3 DNAバンドを見やすくする方法はありませんか？

A3 アガロースゲルの厚さを薄くし、脱色時間を長くすると見やすくなります。

Q4 本品で染色したアガロースゲル電気泳動画像でDNAバンドの定量は可能ですか？

A4 DNAバンドの濃淡でDNA量が多い・少ないの推測はできますが、正確な定量には適していません。

Code No.	製品名	容量	希望納入価格(税別)
312-08491	CLEAR STAIN Blue	120 ml	5,000円

関連製品

Code No.	製品名	容量	希望納入価格(税別)
317-90251	6×Loading Buffer Orange G	1ml×3	2,000円

製造元 **株式会社ニッポンジーン**

〒930-0834 富山市問屋町二丁目7番18号
TEL: 076-451-6548 FAX: 076-451-6547
URL: <https://www.nippongene.com>

販売元 **富士フイルム 和光純薬株式会社**

本社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 TEL: 06-6203-3741 (代表)
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL: 03-3270-8571 (代表)
フリーダイヤル 0120-052-099 フリーファックス 0120-052-806